



平成 26 年 5 月 2 日

各位

会社名 アンジェス MG株式会社  
代表者 代表取締役社長 山田 英  
(コード番号 4563 東証マザーズ)  
問合せ先 経営企画部長 米尾 哲治  
電話番号 03-5730-2641

### **NF- $\kappa$ B デコイオリゴを用いたアトピー性皮膚炎治療薬の開発戦略を変更 新たな製剤技術を検討**

当社は塩野義製薬株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：手代木 功、以下、塩野義製薬）と共同で、核酸医薬である NF- $\kappa$ B デコイオリゴを用いたアトピー性皮膚炎治療薬の開発を進めておりますが、このたび、開発戦略を変更することを決定しましたのでお知らせします。

当社と塩野義製薬は平成 25 年 6 月より、株式会社メドレックス（本社：香川県東かがわ市、代表取締役社長 松村 眞良、以下、メドレックス）の経皮製剤技術を用いた NF- $\kappa$ B デコイオリゴのアトピー性皮膚炎治療薬について第 I 相臨床試験を実施してきました。今回、この試験データを分析した結果、現行の製剤については第 II 相臨床試験には進まず、臨床開発の成功確率を高める目的で新たな製剤技術の検討を行うことを決定しました。今後の開発につきましては、当社と塩野義製薬との合意に基づき、当社が主体となって進めていきます。なお、当社と塩野義製薬およびメドレックスとの提携は継続されます。

NF- $\kappa$ B デコイオリゴは通常の低分子医薬品に比べてサイズの大きな分子であり、医薬品として最適の効果をj得るためには NF- $\kappa$ B デコイオリゴを効率的に皮膚透過させる製剤技術との組み合わせが重要となります。新たに検討する製剤技術には、今回の第 I 相臨床試験で用いました現行製剤とは異なるメドレックスの新たな技術に加え、同社以外の技術、および当社が過去に第 II 相臨床試験を実施した軟膏製剤が含まれます。候補となる製剤技術を改めて幅広く検討し、アトピー性皮膚炎を対象とした NF- $\kappa$ B デコイオリゴに最も適した製剤技術を選定し、開発を継続します。

なお、本件による今年度業績への影響は軽微であり、業績予想に変更はありません。

以上